

理事会および拡大評議員会議事録から

東北大学での全国大会の前日(5月24日)に今年度第1回の理事会および拡大評議員会が開催されました。主要な議案は以下のとおりです。

報告

1. 2013年度事業計画
2. 2013年度予算案

議題

3. 2012年度事業報告
4. 2012年度編集委員会活動報告
5. 2012年度大会準備委員会活動報告
6. 2012年度決算報告
7. 2014年度大会開催校の決定
8. その他

*なお上記、事業計画、予算案、事業報告、決算報告は詳細を学会ホームページ「情報公開」欄でご覧いただけるようになっています。

「8. その他」の議案は以下のとおりです。

- (1) 全国大会開催期間中の託児室開設制度規程——ニューズレター前号(No.121)でお知らせしましたとおり、本規程を学会ホームページの「情報公開」欄に掲載しております。今年の全国大会では、この規程に則って初めて託児室を開設いたしました。東北大学関係者のご厚意とご尽力に改めて御礼申し上げます。
- (2) 本部役職者の定年規程——これもニューズレター前号でお知らせしましたとおり、学会ホームページの「情報公開」欄に掲載しております。理事、監事、評議員のいずれも、任期満了時(事業年度の最終評議員会(全国大会前日)終了時)に66歳未満でなければならないことが承認されました。
- (3) 学会誌の電子媒体への転載許可について——『英文学研究 和文号、英文号』は既に国立情報科学研究所レポジトリ(CiNii)に掲載しておりますが、刊行から1年を経過した論文は、英文学会の許可を得たうえで大学のレポジトリ等への転載を認めることが承認されました。
- (4) 『英文学研究 支部統合号』の電子化について——『英文学研究 支部統合号』につきましてもCiNiiへの掲載をすることが承認されました。既に各支部事務局には各執筆者への許諾を依頼しております。執筆者の皆様におかれましては、ご協力のほどお願い申し上げます。なお、どうしても連絡がとれず承諾が得られない場合は原則として掲載することが承認されております。転載につきましては『支部統合号』も『和文号、英文号』と同様に上記(3)のとおりに扱います。
- (5) 本部役職者と支部役職者の任期について——上記(2)のとおり、本部役職者の任期は大会前日会議をもって満了となります。このため、3月末で役職者の交代を行っている支部とは任期にずれが生じますが、これを一致させる必要はないこと、調整は各支部に任せることが承認されました。
- (6) 支部予算案作成について——今年度より、本部予算案作成のために各支部より次年度予算案の提出をお願いすることが承認されました。
- (7) 学会ホームページ過去情報アーカイブ等の整理について——学会ホームページの過去情報については保存期間を原則として2年間とすることが承認されました。また、ホームページを会員の皆様がより使いやすいものにするため、検討していくことになりました。
- (8) 支部への会誌配布数の変更について——日本英文学会の刊行物のうち、『大会プロシーディングス』、『支部大会資料統合版』、『英文学研究 支部統合号』につきましては、従来、それぞれ15部、20部、20部を各支部事務局に配布しておりましたが、各支部事務局からご回答いただいたアンケートの結果に基づき、今年度からは原則として各10部を配布する

ことになりました。

- (9) 来年度全国大会における特別講演、特別シンポジウムについて——第86回大会における特別講演、特別シンポジウムの企画内容は理事会にて決定されます。
- (10) 大学代表制度について——支部体制の確立に伴い、本学会にも間接民主制が整備されたので、大学代表会議は発展的解消を遂げてもよいのではないか、という提案がなされ、大学代表の方々には今後1年をかけてそれを審議していただき、来年の拡大評議員会で結論を出すことが承認されました。
- (11) 2013年度就任の新理事、新監事、新評議員について——以下の方々が紹介されました。
- 理事8名 (任期2年)
竹本幸博 (北海道)、箭川修 (東北)、原田範行 (関東)、阿部公彦 (関東)、榎正行 (中部)、佐々木徹 (関西)、新田玲子 (中国四国)、村里好俊 (九州)
- 監事2名 (任期4年)
金子義明 (東北)、巽孝之 (関東)
- 評議員7名 (任期4年)
本堂知彦 (北海道)、佐々木和貴 (東北)、田村斉敏 (関東)、赤岩隆 (中部)、小澤博 (関西)、高橋渡 (中国四国)、鶴飼信光 (九州)
- (12) 代表理事・会長の選出について——定款の定めるところに従い、新理事により代表理事・会長として佐々木徹理事 (関西支部選出) が推挙され、了承されました。また、佐々木会長の指名により、原田範行理事 (関東支部選出) が副会長に就任いたしました。

大会準備委員会からのお知らせ

◎委員の交代

本年6月23日をもって秋孝道、西山徹、新田啓子、松本靖彦、由井哲哉の5氏が任期満了により退任しました。後任には、井石哲也 (活水女子大学)、大串尚代 (慶應義塾大学)、佐野隆弥 (筑波大学)、鈴木亨 (山形大学)、田中孝信 (大阪市立大学) の5氏が選出されました (任期は各委員とも3年)。なお、小川公代氏が任期途中で退任されたため、霜鳥慶邦氏 (福島大学) が大会準備委員会内規に従い、小川氏の任期の残存期間 (2年) の任期で選出されました。委員長は桂山康司

氏、副委員長は大石和欣氏です。

◎第85回全国大会の『大会 Proceedings』発行

第78回大会から刊行がはじまった『大会 Proceedings』を、今回も無事発行することができました。研究発表33件中24件 (73%)、シンポジウム発表45件中20件 (44%)、特別講演1件、総発表数79件中45件 (57%) の論文をお寄せいただきました。また今回は、全7支部より68の原稿をいただきました (北海道9件、東北11件、関東4件、中部6件、関西12件、中国四国5件、九州21件)。ご寄稿ありがとうございます。なお、『大会 Proceedings』に掲載される論文は、大会発表の長めの要約という性格のもので、それを大幅に加筆して、別稿として『英文学研究』に投稿もしくは新人賞に応募することは認められています。

◎第85回全国大会で発表された方へ

ご発表ありがとうございました。研究発表およびシンポジウムのいずれについても、参加者の方から多くのご好評をいただきました。ハンドアウト等の資料が不足した部屋・部門においては、今からでもほしいという声があるようです。著作権等の問題がない場合には、今年度も学会ホームページにおいて掲載させていただきたく思っております。すでに送っていただいた方のは、掲載されております。これからでも掲載して下さる発表者の方はぜひ事務局に原稿をお送りください。電子ファイル (etaikai@elsj.org) でも、ハードコピーでも結構です。どうぞご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

◎第86回全国大会の開催日・開催校等

時 2014年5月24日 (土)、25日 (日)

所 北海道大学 札幌キャンパス

(札幌市北区北8条西5丁目)

開催校委員

大野公裕、奥聡、瀬名波栄潤、高橋英光 (委員長)、竹内康浩、竹本幸博、野村益寛、宮下弥生

支部委員

池内静司 (北海学園大学)、上野誠治 (北海学園大学)、岡崎清 (札幌学院大学)、尾野治彦 (北海道武蔵女子短期大学)、金井彩香 (千

歳科学技術大学)、菅原崇(岐阜工業高等専門学校)、十枝内康隆(北海道教育大学旭川校)、濱田英人(札幌大学)、本堂知彦(北海道教育大学札幌校)、森岡伸(札幌医科大学)、渡部あさみ(札幌大学)、この他北海道支部から1名。

北海道大学の先生方には大変なお仕事をお引き受けいただき、まことにありがとうございます。また全国大会担当支部である北海道支部の方々にも心より御礼申し上げます。大会準備委員会としても、できるかぎりのバックアップを心がけたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

◎第86回大会のシンポジア企画の内定

第86回全国大会で行われるシンポジアの企画が下記のように内定しました。(敬称略。タイトルは変更される可能性があります。また、講師が追加される予定のものもあります。)第1～6部門と第10部門は大会第1日(5月24日)、第7～12部門(第10部門除く)は第2日(同25日)にそれぞれ開催される予定です。

第1部門「初期近代演劇と科学的知見」

司会・講師 川田潤(福島大学教授)
 講師 末廣幹(専修大学教授)
 講師 宮本正秀(大東文化大学専任講師)
 講師 吉原ゆかり(筑波大学准教授)

第2部門「戦争と文学の軌跡——ナポレオン戦争から第一次世界大戦まで」

司会・講師 玉井史絵(同志社大学教授)
 講師 David Chandler(同志社大学教授)
 講師 川端康雄(日本女子大学)
 講師 荒木映子(大阪市立大学名誉教授)

第3部門「『生き・モノ・語り』—— It-Narratives と近代イギリス文学」

司会・講師 内田勝(岐阜大学教授)
 講師 川津雅江(名古屋経済大学教授)
 講師 千森幹子(山梨県立大学教授)
 講師 丹治愛(法政大学教授)

第4部門「ミドルブラウという名の挑発」

司会・講師 井川ちとせ(一橋大学教授)

講師 武藤浩史(慶應義塾大学教授)
 講師 松本朗(上智大学准教授)
 講師 山田雄三(大阪大学准教授)

第5部門「Anglo-Saxonism と Englishness ——その源流と発展」

司会・講師 唐澤一友(駒沢大学教授)
 講師 濱口恵子(土佐女子短期大学元教授)
 講師 岡本広毅(東洋大学非常勤講師)
 講師 唐戸信嘉(文化学院非常勤講師)

第6部門「省略現象から考える統語論と意味論のインターフェイス」

司会・講師 島越郎(東北大学准教授)
 講師 江本博昭(旭川医科大学講師)
 講師 中村太一(福井大学講師)
 講師 山村崇斗(筑波大学助教)
 講師 奥聡(北海道大学准教授)

第7部門「ハイウェイとスモールタウンのアメリカン・ナラティブ」

司会・講師 宮脇俊文(成蹊大学教授)
 講師 金原瑞人(法政大学教授)
 講師 下條恵子(九州大学准教授)
 講師 馬場聡(日本女子大学准教授)
 講師 来馬哲平(早稲田大学大学院)

第8部門「破滅型詩人と近代社会」

司会・講師 飯野友幸(上智大学教授)
 講師 中尾まさみ(東京大学教授)
 講師 高岸冬詩(首都大学東京教授)

第9部門「アメリカン・ロマンスを問い直す——ホーソーン没後150年」

司会・講師 成田雅彦(専修大学教授)
 講師 高尾直知(中央大学教授)
 講師 小林憲二(立教大学名誉教授)
 講師 森あおい(明治学院大学教授)

第10部門「英語史における言語変化のスケジュール」

司会・講師 堀田隆一(中央大学教授)
 講師 尾崎久男(大阪大学准教授)
 講師 小池剛史(大東文化大学准教授)
 講師 澤田真由美(愛知学院大学准教授)

講師 鈴木大介（日本学術振興会特別研究員）

第11部門『今ここ』の相互行為の中でとらえる 文法と文化

司会・講師 高木智世（筑波大学准教授）

講師 遠藤智子（日本学術振興会特別研究員）

講師 黒嶋智美（明治学院大学研究員）

講師 早野薫（お茶の水女子大学講師）

第12部門「グローバル時代の英語教育——英語 史からの貢献」

司会・講師 家入葉子（京都大学教授）

講師 池田真（上智大学准教授）

講師 谷明信（兵庫教育大学教授）

講師 寺澤盾（東京大学教授）

◎第86回全国大会招待発表

第85回全国大会に引き続き、第86回全国大会においても招待発表を行います。講師は次の各氏に決定しました。（敬称略。50音順）

久木田直江（静岡大学教授）

鈴木美津子（東北大学名誉教授）

玉井暉（武庫川女子大学教授）

中尾佳行（広島大学教授）

中野春夫（学習院大学教授）

牧野有通（明治大学名誉教授）

安井泉（聖徳大学教授）

吉中孝志（広島大学教授）

◎第86回全国大会研究発表の募集

第86回全国大会の研究発表を募集しております。応募の規程および方法については、本年改正されております。学会のホームページ（<http://www.elsj.org>）上でご確認のうえ、ふるってご応募ください。また、ウェブ上のフォーマットを利用して、ウェブから直接応募することが可能ですので、どうぞご利用ください。応募の締切りは11月1日（必着）です。

◎シンポジウム公募の停止

2012年3月発行の*ELSJ Newsletter* (No. 119)でお知らせしましたように、ワークショップ制度導入に伴い、提案者自らが参加するシンポジウムの企画の公募は第86回大会より停止します。ただし、提案者が自ら参加するのではない形のシンポ

ジウムのテーマに関する提言は、随時受け付けることとしますので、事務局（etaikai@elsj.org）までお寄せください。寄せられたアイデアはデータベース化し、大会準備委員がシンポジウムを企画立案する際の参考資料として活用します。

◎ワークショップ制度について

同じく2012年3月発行の*ELSJ Newsletter* (No. 119)で言及しましたとおり、学会や研究会での日ごろの研究成果を全国大会で発表、あるいは同じテーマに関心をもつ全国の研究者と討論・交流したいという会員の要望にお応えするために、2014年度の第86回大会よりワークショップを新設することにしました。

このワークショップはシンポジウムに準ずるものとして位置づけ、寄せられた企画のテーマにできるだけ沿いながらも、日本英文学会の企画としてのレベルを維持するようにしたいと考えています。開催時間帯に関しては、当面、大会2日目の特別講演・特別シンポジウムの時間帯に（2時間半程度）開催する予定です。ただし、開催校のキャパシティーや特別シンポジウム・特別講演への影響を考慮して、ワークショップ開催上限数を当面3件程度にします。また、ワークショップ企画案は、分野バランス等を考慮して、大会準備委員会で選考させていただきます。

募集の締切りは大会開催前年の4月末日とします。また応募の要件は、日本英文学会が対象とする分野の研究者（英語英米文学、英語教育）については日本英文学会会員に限ることとし、それ以外の分野の講師については日本英文学会の規程に則った扱いとします（ただし、旅費等の支給はありません）。発表の内容は大会当日において、口頭・活字とも未発表のものに限り、また応募に当たっては他学会等とのいわゆる「二重投稿」は認めません。なお、86回大会についてはワークショップの応募はありませんでしたので開催いたしません。

第87回大会分の応募締切りは、2014年4月末日です。応募をご希望の方は、学会ホームページ（<http://www.elsj.org>）に掲載されている応募要領を良くお読みのうえ、同ホームページよりダウンロード可能な応募フォームその他の書類をそろえて、大会準備担当書記（etaikai@elsj.org）までお送りください。会員の皆様のご協力をお願いします。

編集委員会からのお知らせ

◎投稿状況

『英文学研究』は、和文号（12月刊行）、英文号（3月刊行）の年各一冊という刊行形態となっており、それに応じてそれぞれ投稿締切りが設定されておりますが、昨年9月1日締切りの英文号には24本の投稿論文が寄せられました。また、本年4月1日締切りの和文号には13本の投稿論文が寄せられました。

◎第36回新人賞応募状況

第36回新人賞論文の応募受付は、去る4月30日をもって締切りとなりました。応募論文総数は、9篇（英文学3篇、米文学5篇、英語学1篇）です。応募者の皆様には心より感謝申し上げます。

今年度は残念ながら、第一次銓衡を通過した論文はなく、新人賞および佳作とも、該当論文なしということに決定いたしました。全体および各分野の選評は『英文学研究』和文号第90巻に掲載されます。

◎優秀論文賞について

『英文学研究』第90巻において、「優秀論文賞」は「該当論文なし」となりました。

◎投稿規程・新人賞応募規程の変更

昨年度投稿規程の変更を行いました。会員の皆様に、充実した研究成果を論文として積極的に投稿・応募していただけますように、来年度、さらなる変更をいたします。主な変更は下記の3点です。これらは、通常論文の投稿規程と新人賞応募規程に等しく適用されます。

- (1) 現行では「30字×30行×16枚以内」であった分量制限を「40字×30行×15枚以内」に改めます。英語論文7000語は従来とおりとします。
- (2) 枚数・語数制限に関わる日本語論文投稿規程の「原則として」、及び英語論文投稿規程の「in principle」という文言が削除され、より厳格な分量制限に改められます。
- (3) 「樹形図、表、グラフ、数式、図版」が制限枚数・語数より除外されます。「註」が制限枚数・語数に含められ、「引用文献」が除外されるのは従来とおりです。

詳細は本年12月刊行の和文号掲載の投稿規程でご確認ください。来年度以降投稿される方は、ご注意くださいますよう、よろしくお願いいたします

◎顧問制度について

10名の編集委員会顧問が新たに就任し、必要に応じて論文の査読に携わることになりました。新たな顧問の先生方のお名前を含め詳細は次号のニューズレターにてお報せいたします。

事務局からのお祝い・ご報告

◎今年度の大会について

5月25日（土）・26日（日）に東北大学川内キャンパスにて開催された第85回全国大会は、両日とも晴天にめぐまれ、当日会員を含む多くの方々にご来場いただきました。研究発表、シンポジアのいずれにおきましても活発な議論が展開され、また、野家啓一先生による特別講演はまことに啓発的であり、大会は盛会のうちに終了いたしました。研究発表・シンポジア関係者、特別講演関係者の皆様、書籍展示に参加された協賛会員の皆様、大会運営を担われた東北大学の教職員・学生の皆様、会の運営に力をお貸し下さった東北支部の皆様に厚く御礼申し上げます。

◎来年度の大会について

すでに学会ホームページでもお知らせしましたが、来年の第86回全国大会は2014年5月24日（土）・25日（日）の両日に北海道大学札幌キャンパスにおいて開催されることが決定いたしました。開催校をお引き受け下さった北海道大学の皆様に心より御礼申し上げます。

なお、来年度の全国大会より、懇親会の予約を学会ホームページからの受付に統一いたします。予約方法については、2014年3月刊行予定の『第86回大会資料』ならびに学会ホームページにて、改めてお知らせいたします。

◎来年度大会における特別シンポジウムについて

大会2日目（5月25日〔日〕）の午後には以下の特別シンポジウムが開催されます。どうぞふるってご参加ください。詳細については『第86回大会資料』に掲載いたします。

「翻訳と文学研究、翻訳と語学教育」

司会・講師 斎藤兆史（東京大学教授）
 講師 真野泰（学習院大学教授）
 講師 亀山郁夫（名古屋外国語大学学長）
 講師 鴻巣友季子（翻訳家・文芸評論家）

◎全国大会期間中における託児所の開設について

開催校ならびに北海道支部のご尽力により、来年度全国大会期間中に、託児業者に委託することで、大会会場内に託児所が開設されることになりました。ご関心のある方は本部事務局宛てお問い合わせください。

◎会費納入と刊行物発送について

会費（一般会員 8,000 円、学生会員 5,000 円、協賛会員 10,000 円）を滞納しても、ただちに会員資格を失うことにはなりません。退会届が出されない限り、会費の納入が滞っても、2 年間は引き続き刊行物をお送りいたします。『大会 Proceedings』に 2 年度分の会費振込用紙が同封されている方々は、会費滞納が 2 年目になっています。今年度中に 2 年度分の会費の納入がなかった場合、2014 年 3 月末をもって除名となり、未納分は債務として請求されますのでご注意ください。

会費の納入状況が不確かな場合には、メール・電話・ファックスなどで、事務局までご確認ください。重複して会費が支払われますと、払い戻しなどに余分な手数料がかかってしまいますのでご注意ください。

会費の納入忘れを避けるためにも、郵便局（ゆうちょ銀行）に口座を開設する必要がありますが、「郵便局自動払込みによる会費引き落とし」のご利用を強くお勧めしております。手続きは、事務局からお送りする書類に記入して、ご返送いただくだけです。領収書も、ご請求があれば学会より発行いたします。メールや電話でご連絡をいただければ、速やかに自動払込み停止の手続きをいたします。まだ利用されていない場合には、これを機会に是非ともご検討ください。

◎会員著書案内について

2012 年 4 月より、事務局宛てに会員の皆様からご著書を献本いただいた場合、学会ホームページに、著書紹介を出版から 2 年間掲載することが

できるようにいたしております。著書は会員独自の研究成果に限り、訳書等は対象外とさせていただきます。また、著書案内に掲載された著書については、『英文学研究』編集委員会において書評対象の候補として検討させていただきます。著書に関する情報は、

1. 著書のタイトル、目次、出版社、出版年
2. 著書の内容の梗概 1200 字程度

です。会員の皆様、ご著書をお出しになった方は、どうぞふるって著書紹介コーナーをご利用くださるようお願い申し上げます。1 および 2 の著書情報は事務局までメールでお寄せください。すでに 20 冊（2013 年 8 月時点）が学会ホームページ「会員著書案内」欄に紹介されておりますので、ぜひご覧ください。

◎海外研究者招聘後援事業について

日本英文学会では、2011 年 6 月 1 日より、日本における英文学研究の国際化促進のために、海外研究者招聘後援事業を開始いたしております。詳細は学会ホームページ上の当該規程をご覧ください。同規程に該当する企画をおもちの団体による応募を歓迎いたします。どうぞふるってご応募くださいますようお願いいたします。応募する団体は申請書類を事務局宛て電子メールにてお送りください。

◎次回の Newsletter について

次回の Newsletter は、2014 年 3 月中旬刊行予定の『第 86 回全国大会資料』の巻末に掲載される予定です。なお、それまでの間に公開すべき情報は、随時、学会ホームページにて告知いたします。

◎評議員の交代について

6 月 27 日付で赤岩隆評議員より、一身上の都合により辞任届が提出されました。定款に基づき、7 月 28 日に評議員選定委員会を開催し、赤岩評議員の辞任を承認するとともに、後任評議員として内田恵氏（静岡大学）を選定いたしました。内田評議員の任期は赤岩前評議員の任期満了時（2017 年度大会前日会議）までとなります。

◎その他

本年 5 月末をもって、前任の後藤和彦事務局長、猪熊恵子会計担当事務局長補佐、岩田美喜大会準

備担当書記、倉林秀男学会ウェブ担当が退任されました。一般財団法人化以後の英文学会の基礎を固めるべく、数々の困難と多くの業務に、優れた判断力と堅固な統率力、迅速な行動力をもって対処くださいました。改めて心より御礼申し上げます。

この交代に先立って、4月より新たに、松本靖彦（事務局長補佐）、北川依子（会計担当補佐）、瀬名波栄潤（大会準備担当書記）、山本洋平（ウェブ担当）の4名が事務局に入り、昨年度の事務局長補佐から事務局長に配置換えになった廣田篤彦、昨年度より引き続き編集担当書記を務める田中裕介とともに6名の体制で本年度の事務局運営に携わることになりました。任期は来年度の大会が終わる5月末までです。2名のいずれも有能なる事務職員に支えられ、佐々木徹会長のもと、力を合わせて努めていきたいと考えております。至らぬ点多々あることかと思いますが、会員の皆様におかれましては、どうぞご指導・ご協力のほどをよろしくお願いいたします。

日本英文学会事務局

廣田篤彦・松本靖彦・北川依子・田中裕介・
瀬名波栄潤・山本洋平